

「困ったときは おたがいさま・・・」

【設立】1979年、相馬雪香が「インドシナ難民を助ける会」を設立。インドシナ難民のための日本語教育支援、その子弟のための学校教科学習支援、経済的支援が始まる。現在は、日本に定住する難民・中国帰国者・日系定住者等に支援の対象を広げ、「社会福祉法人さぼうと21」（1992年設立）として上記活動を継続している。

【所在地】〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル6階
URL：http://support21.or.jp/ E-mail：info@support21.or.jp
電話：03-5449-1331

- 【事業概要】
- 1 生活援助事業（就学支援／学習支援室）
 - 2 相談事業
 - 3 緊急支援事業、東日本大震災関連支援事業

学習支援室では

ボランティアによる日本語教育支援・学習支援が行われています。

- 毎週土曜日 午前10時から午後6時の間
- 登録学習者80名あまり（小学生～70代・東京都23区内在住の難民等）
- 登録ボランティア100名あまり（高校生～定年退職者・東京近郊在住者）
- 日本語、パソコン、学校教科（小学校～高校）など、学習者の自立や自己実現に必要なと思われる「学び」はできる限り対応。「ネイル試験対策」「ピアノ」「運転免許取得のための教本読み」等を学ぶ姿も・・・。
- 特定の教科書や教授法はなし。学習者の目標達成を目指して、固定個別を基本とする学習ペアが、コーディネーターと共に自分たちの学習内容を取り決め、学習に取り組んでいる
- 現在進行中のクラブ活動など ⇒ ギタークラブ、カフェプロジェクト、山登り、お祭り参加 他



UNHCRと共催の日本語集中講座



ネイル試験前日の模擬練習



グローバルフェスタに皆で参加！

- より多くの方に多彩な学びの機会を提供できることを願って、委託事業を実施しています
- 教室に来られない学習希望者のために、当団体が作成した教材は無料公開しています

●生活場面切取動画



●付属紙教材



平成24年度～平成26年度
文化庁委託事業にて作成

「さぼうと21」
「教材バンク」
で検索を！



事業実施概要

事業名称	外国人住民・日本人住民 共育ち日本語教室展開事業 ～「日々の暮らしを豊かにしよう！」を合言葉に～	
地域の課題	自分らしく輝ける、より豊かな日本社会定住を目指す（滞日歴の長い）定住難民、生活基盤がまだ不安定で、日本社会での定住が思うように進まない（滞日歴の比較的短い）難民等、その両者に対してどのような支援を行っていきけるのが、今の難民支援現場の課題です。	
事業の目的	日本に暮らす外国人住民と日本人住民が共に学び、共に社会の一員として成長できるような日本語教室を展開していくこと、そのために必要となる人材育成や教材作成を実施すること	
事業の概要	日本語教育の実施	
	名称 : 体験を通して学ぶ初級日本語講座	名称 : 生活力向上のためのワークショップ
	目的 : 日常生活で最低限必要とされる生活上の行為を日本語で行える(または、行えるという勇気がもてる)ようになること。	目的 : ①定住に必要な知識や考え方を学ぶこと ②日本語力の向上だけでは対処できない事態にも備えられるようになること
	対象 : 日本語でコミュニケーションが難しい難民	対象 : 難民等定住外国人
	人数 : 15人(ミャンマー、アフリカ各国等)	人数 : (総数)89人(ミャンマー等)
	時間 : 週1回×2.5時間×全21回 全52.5時間	時間 : 1.5～2.5時間×全10回 全17.5時間
内容 : 「避難訓練をします」「国の料理を作ります」など、体験を重ねながら、語彙や表現の習得に励む。	内容 : 「保険とお金」「美容と身だしなみ」等、各分野の専門家(ファイナンシャルプランナー、美容アドバイザー等)を講師として招き、生活に必要な知識や情報を理解する。	
事業の概要	日本語教育を行う人材の養成・研修の実施	
	名称 : 日本語教室ボランティアのためのスキルアップ講座	
	目的 : 日本語学習とは何かを問い直すこと、連携の重要性や方策を体感してもらうこと	
事業の概要	対象 : 地域日本語教室でボランティアとして活動している人、または活動に関心がある人	
	時間 : 全40時間(全8回) 人数 : 21人(出身・国籍: 日本)	
	内容 : ①講座 ②日本語学校の見学 ③ワークショップの実践 ※あわせて、地域日本語教室で活動するボランティアが、共に学ぶ「生活者としての外国人」について理解を深めることを目的に4時間×2回(8時間)の「理解を深める講座」を実施。テーマは「多文化共生…医療通訳に何が出来る?」「多文化共生…大学に何が出来る?」。58名受講。	
事業の概要	日本語教育のための学習教材の作成	
	名称 : 「生活場面切取動画」付属紙教材作成+「ミニ場面集 3～こんな時日本語で・職場編～」	
	目的 : 生活者としての外国人のための日本語教育実施に有効な教材を作成すること	
	対象 : 外国人住民(レベルは問わない)	
事業の概要	構成 : 動画教材「生活場面切取動画」付属紙教材(8本の動画教材に対応・計16ページ)	
	使い方 : 紙教材を間に、対話を大切に日本語教育支援を進める。「生活場面切取動画」を見ながら授業を進めることも可能。紙教材は、教師マニュアルとしても利用可能。 ※あわせて、「生活力UP!」のための活動型講座・実践例集」を作成	
成果と課題	日本語教育の一環として、「(外国人住民向け)ワークショップ(活動型講座)」を10回にわたり実施した点。人材の養成・研修において、ワークショップ実践という形の講座を行い、各日本語教室で活動するボランティアに「日本語教育支援」についての新たな視点を提供した点。それらの実践を精査し、さらに充実した日本語教育支援を行っていくことが今後の課題である。	
発表者から一言	難民等定住外国人の自立支援の団体として、日本に定住する難民の方々の求めや希望にいかに対応していけるかを日々考えています。そんな中から生まれた「ワークショップ(活動型講座)」の内容や使用教材、無料公開している「生活場面切取動画」「付属紙教材」を中心にお話します!	